

10/23、24

オール神林で地域を活性化!

道の駅神林「穂波の里」で「ハロウィン&かかし祭」を開催しました。

このイベントは神林で活動していく「将来の担い手」関係人口を増やすことを目的とし、神林地区の魅力を発信するために行いました。神林地区の小学校や地域の団体の皆様から各集落の人まで、多くの皆さんに力ボチャの栽培やかかし作りなど、イベント開催に向けた活動にご協力をいただきました。イベントにはたくさんの方が展示され、来場のお客様から好評をいただきました。

市内だけでなく市外、県外から多くの方がイベント会場に足を運び作品を観覧していただきました。来場者からは楽しそうな笑顔や「すごい！上手だね」などの声が聞こえてきました。

夕暮れには中学生が作ったジャック・オ・ランタンに明かりを灯してイルミネーション等とともにライトアップし、会場は幻想的な光景になりました。

当実行委員会はこのイベントを機にさらに関係人口増加のために力を入れ活動を進めてまいります。



▶神林中学校一年生が作ったジャック・オ・ランタン



神林地区関係人口
創出事業実行委員会

↑実行委員会のページはこちらからどうぞ!

お化けカボチャができるまで

今年度の「ハロウィン&かかし祭」に展示したカボチャは神林地区の小中学校をはじめ、集落関係者の皆さんにカボチャ栽培のご協力をお願いし、昨年よりもたくさんのカボチャが集まりました。皆様ありがとうございました。

今年のカボチャ栽培は苗を畑に植えるところから始めました。神林中学校では地域の方を講師にお招きし、環境委員会の生徒たちが苗の植え方やその後の育成方法を学びました。

平林小学校は四年生がカボチャを育てました



苗は三種類の品種（大・中・小）のカボチャを植えました。場所によってはうまく育たない苗があったり、苗が病気になるという事もありと大変だったという事で心配しましたが、丹精込めて育てていただいたお陰で秋には立派なカボチャが出来上がりました。



指導を真剣に聞く生徒たち



10月になり、いよいよイベントが近づいてきた頃、平林小学校、神納小学校では自分たちが育てたカボチャにお化けの顔の絵を描きました。怖い顔やかわい顔、児童一人ひとりが自分の思い描く個性あふれる作品に仕上げることが出来ました。

イベント前日、神林中学校では一年生が学校と神林地区各地で採れたカボチャを使ってジャック・オ・ランタンを作りました。生徒たちは大人顔負けの加工技術でカボチャをくり抜き、素晴らしい作品が出来上がりました。「楽しかった」「また来年もやりたい」という声もあり、児童生徒たちは楽しんで事業に参加してくれました。（中学生が加工したカボチャの写真は表面に掲載）



神納小学校の三年生は自分育てたカボチャに絵を描きました



カボチャをくり抜くことに一生懸命な生徒たち

豪華景品内容はこちら

- 1等 【新米】岩船産コシヒカリ（半年分） 15,000円相当
- 2等 神林の名産品 詰め合わせセット 7,000円相当
- 3等 神林の名産品 詰め合わせセット 5,000円相当

さて、それぞれ誰に当たるでしょうか？

- ◆ 神林地区関係人口創出事業実行委員会（神林支所地域振興課自治振興室内）
- ◆ 電話・告知端末：66-6122
- ◆ メール：k.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp

編集後記

10月下旬頃から新型コロナウイルスの感染者が減りつつあり、新潟県内でも感染者ゼロが続く日もありました。そのせいもあってか、市外、県外から多くの方々にお越しいただき、イベントへ参加したり、作品を鑑賞していただいたことを実行委員一同大変うれしく思っております。また、皆さんにご協力いただいたアンケートは今後の活動の指針となる大切なものです。皆さんがまた来たいと思える地域づくりを今後も精力的に続けてまいります。イベント会場ではたくさんの皆さまからアンケートにご協力いただき、応募ハガキを送られた皆さんの中から抽選で左記のプレゼントを送りますので楽しみにしてください。届いたら是非SNSに投稿してくださいね！